

南戸塚中だより

令和2年度 第7号
令和2年10月16日発行
学校長 赤堀 貴
電話 871-7611



前期から後期へ

10月9日(金)は前期終業式でした。今年度も半分が過ぎました。年度当初から2か月に及ぶ臨時休業、6月から学校再開、夏休みが2週間になるなど異例の半年でした。学校が始まってからの生徒のみなさんは、いろいろな変更や制約の中、とてもよく頑張っていました。新型コロナウイルス感染は、まだ安心できる状況ではありません。これまで続けている感染予防の対応をしながら、後期の学校生活も目標をもって頑張っていきましょう。

体育大会開催 ～爽やかな秋空の下で～

10月13日(火)に予定通り開催することができました。6月末から延期、規模を縮小しての実施でした。来賓・保護者にご遠慮いただいたことは残念でありました。当日は天候にも恵まれ子ども達の元気な姿が見られました。次号で合唱コンクールと合わせて特集させていただきます。



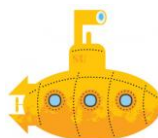
学年総合優勝	1-4	2-3	3-1	/	学校全体大縄跳び	優勝	3-1(57回)
準優勝	1-2	2-5	3-4	/		準優勝	3-3(54回)

教育実習生

教育実習生4名が9月後半から10月1日(木)までの2～3週間、本校で実習を行いました。学校の先生を目指す大学生が学校に入るのは、生徒にとっても教職員にとっても新鮮なものです。実習では毎日、日誌を書くのですが、最終日のところで、「この学校で教育実習ができて、本当によかったです。」という一文がありました。みなさんの何事にも一生懸命の姿が大きな力を与えたのでしょうか。いい先生になってくれるといいですね。みなさんも将来、中学校の先生を目指すことにしたら、南戸塚中へ来てください。

<今後の予定>

10月22日(木) 合唱コンクール ※生徒のみ
10月26日(月) 3年個人面談(～30日まで)
11月 6日(金) 3年 進路説明会
11月16日(月)～ 後期中間試験
(裏面あり)



タイトル上のメッセージ

「波の下で暮らす」と聞いて想像するのは？…リトルマーメイド？龍宮城？この歌詞は“Yellow Submarine”の一部です。とても明るい元気の出る曲です。人間にとって夢の別世界、空中と水中。空を自由に飛べたり、水中で自由に過ごせたらと考えるとワクワクしますね。これを機会に「潜水艦」を漢字で書けるようにし、英単語 *Submarine* を覚えてくれるとうれしいです。

交通安全 横断歩道では・・・

本校正門のところに信号機のない横断歩道があります。横断歩道を通過する車を見ると、歩行者をきちんと確認できているのだろうか心配になるような場合もあります。交通ルールでは、信号機のない横断歩道では、横断しようとしている歩行者がいたら車両は一時停止しなければなりません。だからといって車が止まるだろうと思って渡りはじめ、ぶつかってしまったら大変なことになります。

信号機のない横断歩道の長野県での調査記事がありました。手を挙げずに立った時の停止率は35%、手を挙げたときは88%だったそうです。手を挙げれば歩行者が渡ろうとしていることが明らかとなり、車の方も止まる判断がしやすくなります。手を挙げるのは少し恥ずかしいかもしれませんが、安全のためには有効な手段です。また、止まってくれた車両の運転者に軽くお礼の会釈をすると、運転者は止まってよかったと感じ、安全運転を続けてくれるのではないのでしょうか。学校周辺を通る車はほぼ同じ人だと思えます。南戸塚中の生徒はマナーがいいから、横断歩道では絶対止まろうと思ってくれるかもしれません。手を挙げる、お礼の会釈をする、そんな街にしていきましょう。

交通事故防止に関しては、「～だろう」でなく「～かもしれない」と常に考えていることが大切です。（「あの車は私に気付いていて止まってくれるだろう」でなく「あの車は私に気付いておらず、止まらないかもしれない」などのように登下校中はもちろん、車社会で生活する日常で、事故に遭うことのないようにしていきましょう。



横浜子ども会議 南戸塚中ブロック会

横浜子ども会議は平成25年から始められ、いじめの未然防止に繋げられるよう、子どもの主体的な取り組みの充実をはかるために毎年行われています。今年は、区・市単位の集まりが中止になりましたが、中学校ブロックでの開催をすることが出来ました。以下、指導担当教諭のレポートです。

9月16日（水）に南戸塚中学校にて横浜子ども会議南戸塚中ブロック会議を行いました。今年度は新型コロナウイルスの関係で南戸塚中、下郷小、南戸塚小からそれぞれ4名の代表児童生徒で実施しました。今年度のテーマである「想～だれにとっても居心地のよい学校づくり」について、各校で実施していることを発表し合い、これからどのような取り組みができるのかを考えました。

互いの取り組みを発表する時間では、あいさつ運動の際にあいさつ十一言を話す取り組みをしている、あいさつ標語を作成する、縦割りでの活動を取り入れるなどの具体的な取り組みが各校より発表されました。またそれらの取り組みについて積極的に質問する姿が見られたり、自分の学校でも取り組んでいきたいという発言があったりするなど活発に意見交換が行われました。児童生徒が主体的に

会議に参加し、南戸塚中ブロックをよりよいものとするため、話し合っている姿が印象的でした。



横浜子ども会議 担当 奥本 優